

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
6日	大教会ひのきしん (岡谷・眞世・南淵)
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本 (あやの台)
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん (道弘)
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん (相嘉)
22日	祭典準備ひのきしん
22日	大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡秋)
22日	大教会役員会議
22日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23日	婦人会話所ひのきしん
24日	大教会ひのきしん (東松浦・西北)
25日	話所ひのきしん日
26日	本部月次祭
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おちば伏せ込み団参 (午前中)

▼その他の行事予定▲

6月 24日 大教会山整備ひのきしん

7月 26日 登殿参列
27日 登殿参列
28日 登殿参列
※期間中、岡話所で「ふれあい広場」を開催予定。詳細が決まり次第案内します。

教務報

◆教養掛
6月 眞世 森 井 道 典
7月 杵 島 原 秀 喜

◆別席願 (4月16日～5月15日受付分)
岡 井 上 和 子
西北 岩 浅 きぬよ
眞 澄 北 島 陽 章
南阿太 森 口 ゆかり

◆おさづけの理拝戴願 (3月16日～5月15日受付分)
表野 蓮 池 優 希
表野 蓮 池 陽 日
須光 蓮 池 健 太
東松浦 中 武 健 太
敷津 張 間 萌 愛 梨

岡大教会連絡報

立教一八六年 六月号 (五月二十三日発行)

岡大教会ホームページ



oka.or.jp
発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111
天理教岡大教会
電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
186.5.23 / 051



の身上を台として、諄々と末代のお仕込みを下された。

一、尊い定命を二十五年縮めてまでも、よろづたすけの根本であるつとめをお急き込み下され、さづけの理を授けられた。

一、教祖の魂は、存命の理をもって永遠にちばに留まれ、世界一れつたすけの上にお働き下されている。

これほど偉大な究極の親心が、他にあるであろうか。私たちは心情的にも、永遠に教祖年祭を節として、教祖の思召実現を目指し、末代かけて世界たすけに邁進しなければならぬ。」

年祭活動を進める今、しっかり心に留め置くべき示唆のように思われます。

(吉田)

POINT

今月のメッセージ 「教祖年祭の意義」

敷島大教会前会長様の「教えと実行2」の中に、次のように書かれていました。

「他の世界宗教では、開祖が生まれた時と、亡くなった時と、どちらを重視して行事を進めているかを眺めてみると、四月の花祭り、十二月のクリスマスなど、それぞれ開祖の生誕を主にして祝っているようである。お道の場合も、教祖御誕生祭、立教の秋季大祭を、年限切ってもっと盛大につとめた方が、明るく勇んだ雰囲気がかもし出されるようにも思われる。」

「悲しい思いのこもる年祭を、なぜ、これほどまでに重きを置いてつとめられるのだろうか。理の思案は次の三点に要約される。

一、教祖が身を隠される直前の約五十日間は、五十年に亘る御教えの集大成を、自ら

教祖140年祭企画 私の年祭活動

「お店でも、改装オープンなどの時にはお客様に揭示物で告知をする。その揭示物で、社員の機運も上がる」と直美さん。「子供たちにも楽しんでもらえる見栄えに作っ

「カウントダウンボード」で教祖年祭の雰囲気づくりを 大和二見分教会

「教祖年祭の雰囲気作りを」との思いは、同教会のグループLINEにも表れている。カウントダウンボードの写真をLINEにアップすると、若い年代からの反応も良い。

年祭活動中、同教会では年を仕切って3つの目標を立てている。「教会につながる全員で実現したい」との思いから、まずは教祖年祭の雰囲気づくりに取り組む同教会。昨年11月に教会長の任命を受けたばかりの直美さんは、「私は見た目から入るタイプだから」とほほ笑むが、その目はしっかりと先を見据えていた。



TOPIC 鹿児島県の甲子園常連校がおちば帰り 樟南高校野球部員と監督らが基礎講座も受講

甲子園、出場27回を誇り、夏の甲子園では準優勝に輝いている鹿児島県の樟南高校野球部。5月の大型連休中、岡話所で合宿を実施し、天理高校野球部などの練習試合に打ち込んだ。

5月2日、同部の関係者と長年交流のある谷川清彦氏(大教会役員・岡道分教会長)の世話取りで、同部部員や関係者らが本部神殿を参拝。その後、南右第2棟で基礎講座を受講した(写真)。



写真で振り返る一カ月
5月 May

女子青年によるバザー



大教会の4月月次祭当日、岡女子青年（出口奈々委員長）はバザーを実施しました。前日に手作りした「ベビーカステラ」や「プリン」、「コーヒー」を販売。すべての商品が売り切れる、大盛況でした。

こどもおぢばがえりに向けて



4年ぶりに開催が決定した「こどもおぢばがえり」。鼓笛お供演奏と鼓笛オンパレードへの出演を目指して、鼓笛隊の練習にも力が入ります。練習に取り組む子供たちの真剣な様子に、その本気度、が伝わってきます。

春の学生の集い in 岡詰所



岡学生担当委員会（奥村孝委員長）は4月30日、「春の学生の集い」を開催。スタッフを含む約30名が参加しました。

この「集い」は例年、新入生歓迎会を兼ねてこの時期に開催されるもの。今年も、管内学校をはじめ、主に関西の学生会メンバーが参加して開催されました。

当日はまず、4グループに分かれてボウリングを実施。詰所で準備されたBBQでは、おいしい食事をとりながらお互いの交流を深める素敵な時間となりました。

この日は、大教会長様ご夫妻も駆けつけてくださり、共に食事を楽しみました。



ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください！



▲婦人会、青年会、少年会の合同総会には159名が参加。参加者全員で一手一つにおつとめを勤めた。

東松浦分教会

3年ぶりに合同総会を開催
一手一つに陽気におつとめに関わる

東松浦分教会（吉田政彦会長）では大型連休期間中の5月5日、婦人会、青年会、少年会による「合同総会」を開催。3年ぶりとなった今回の総会には、159名が参加した。

当初雨予報だった当日は、前日からの雨も上がって曇り空に。午前10時に開会された総会は、まず吉田忠実・青年会東松浦分会委員長の手に合わせて礼拝。座りづとめと前半下りは一人ひとりが役割を勤め、後半下りの「てをどり」は総立ちとし、参加者が一手一つに陽気におつとめを勤めた。

閉会のあいさつに立った吉田会長は、合同総会が開催されるようになった経緯を説明。続いて「おつとめ」について、「おつとめに関わっていくことが、親神様の思召、教祖の親心に素直に込めていく姿であると思って勤めさせていたかどうか」と話した。

総会終了後の「おたのしみ行事」では、さまざまな模擬店やビンゴ大会を実施。心を込めた手作りの食事に舌鼓を打ち、ビンゴの数字が発表されることに子供たちは一喜一憂。笑顔あふれる楽しいひと時を過ごした。

文〓吉田忠実、写真〓光武朝規

こかん様の足跡をたどり お心を学ぶ
岡女子青年が「こかん様に続く会」開催

高校生から30歳までを対象とした、岡女子青年（出口奈々委員長）では、4月30日に「こかん様に続く会」を開催し、対象者17名が参加しました。この行事は、「こかん様のお姿やお心を学び、教えを実行できる人材に育てほしい」との思いから開催されています。

当日は、吉田陽子支部長のお話を聞き、班別での「すごろくトーク」を実施。その後、全員でにをいげに歩きました。

